

留 学 報 告 書

(受入れ交換留学生)

記入日：2015年08月23日

出身国	タイ
出身大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 人文学部 (英) Srinakharinwirot University Faculty of Humanities
明治大学での留学期間	2014年9月～2015年8月

日本に留学しようとした理由	私は子供から日本のことが好きです。特に歌のことで。子供から聞いた歌をきっかけに、日本語を勉強を始めました。ですから、日本に留学することは日本語を勉強している留学生として、最高の夢のようなことと言えます。日本に留学することができるチャンスがあれば、チャンスをつかむと思います。
明治大学情報コミュニケーション学部を選んだ理由	私は2013年の明治大学の情報コミュニケーション学部の短期交換のプログラムに参加ことがあります。そのプログラムのおかげで、たくさん日本人の友達を作ることができました。さらに、私は日本の伝統的な文化が好きですから、明治大学の情報コミュニケーション学部を留学することにしました。
情報コミュニケーション学部・学生の雰囲気	学部の事務室の社員たちはすごく優しくかったです。私の内容のことがわかりにくいタイプですから、様々な問題を聞きました。どんなことも何回を聞いても、すぐに返事をしていました。とても感動しました。情報コミュニケーション学部はタイ語の授業があるので、タイのことに興味を持っている人がいることはとてもうれしかったです。
宿舎の雰囲気	<input type="checkbox"/> 和泉 IH <input type="checkbox"/> 狛江 IH <input checked="" type="checkbox"/> その他 (Sharehouse) 私は希望した寮をできなかったため、自分で寮を探しました。最初の一人暮らしは寂しかったのですが、学校が始まって、色々な友達が出会いました。友達たちと一緒に住まなくても、もし時間があったら、遊びに行きました。
交友関係	情報コミュニケーション学部を受けていたとき、短期プログラムから会ったことがある生徒に会いました。生徒たちが私のことがまだ覚えられることはとてもうれしかったです。短期プログラムを終わったけど、友達の関係はまだありません。
学習内容・勉強について	私は日本の伝統的な文化のことに興味を持っているので、身体コミュニケーション授業を受けました。この授業はだいたいダンスをすると日本人と一緒に踊り方を考えました。沖縄の踊り方ですけれど、私のグループは現在の踊り方と一緒に混ぜて、新しいダンススタイルになりました。とても楽しかったです。
課題・試験について	課題は日本人の生徒と同じなので、大変でした。しかし、日本人の課題と同じだから、自分の日本語力を上達になりました。私が受けた授業は試験がないけれど、レポートがあります。レポートは難しいですが、試験を取るよりよいと思います。

大学外の活動について	私は Abc Cooking Studio という食専門学校を受けました。もし授業以外時間があれば、パンとかケーキの授業を受けていました。私は色々な日本人に会って、先生たちも生徒たちもたくさん話しました。専門学校を勉強することおかげで、専門言葉がだんだん分かるようになりました。さらに、年齢が違う人と友達になりました。年齢が違いますから、様々な意見をもらいました。
ある平日のスケジュール	7時：起きる 9-12時：授業 12-14時：昼食 14時半-16時：授業 16時半-18時：宿題をやる、復習する、夕食 18時-23時：自由時間 23時半：就寝
ある休日のスケジュール	11時：起きる 13時：昼食 14-18時：自由時間（遊びに行く、部屋を片つける）19-21時：明日のことをじゅんびする
情報コミュニケーション学部で得たことや留学の感想	1年間お世話になって、本当にありがとうございます。いつも知らないことを教えてくださって、本当にうれしかったです。

私の時間割

春学期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限						
2限		日本語4（読解）		日本語4（口頭表現）	日本語4（文章表現）	
3限		身体コミュニケーションB				
4限						
5限				問題分析ゼミナールI		
6限						

